

第 67 回 原子力安全専門委員会定例会（議事概要）

日 時：令和 3 年 7 月 1 5 日（木）10：00～10：30

場 所：県庁 10 階 防災センター

出席委員：鞍谷委員長、田島委員、玉川委員、大堀委員
（WEB 出席）三島委員、西本委員、望月委員、黒崎委員

議 題：

- （1）原子力発電所周辺の環境放射能調査について
 - ・令和 2 年度 第 4 四半期（令和 3 年 1 月～3 月）報告
- （2）発電所の運転および廃止措置状況について
 - ・令和 3 年 3 月～6 月分報告

概 要：

- 原子力発電所周辺の環境放射能調査の結果、発電所の運転および廃止措置状況について、事務局より説明
- 資料については、次回の原子力環境安全管理協議会の場で配付予定

（原子力発電所周辺の環境放射能調査）

令和 2 年度 第 4 四半期

- ・ 県内発電所からの放射性物質の放出に起因する線量上昇は観測されなかった。
- ・ 浮遊じん放射能の連続測定の結果、いずれも天然放射能のレベルであった。
- ・ 一部の試料から過去の核実験フォールアウトが主要因と考えられるセシウム 137 が検出されたが、環境安全上問題となるレベルに比べ、はるかに低い濃度であった。
- ・ 一部の試料から発電所の通常の放射性廃棄物管理放出に伴うトリチウムが検出されたが、環境安全上問題となるレベルと比べ、はるかに低い濃度であった。

（発電所の運転および廃止措置状況（令和 3 年 1 月～3 月））

- ・ 今期間の運転状況は、計画外の原子炉停止や出力抑制はなかった。高浜 3 号機および高浜 4 号機の定期検査が終了した。現在、県内発電所 5 基が定期検査中となっている。
- ・ 当該期間において、安全協定に基づき報告された異常事象はなかった。

<主な質疑>

Q.

設備利用率はどの程度が上限となるのか。

A.

大飯では約 103～104%。これくらいが限度と思われる。

Q.

もんじゅの燃料処理は順調に進んでいるか。

A.

問題なく進んでいる。

以上